

**事業所名** グループホームアルテピア  
(クリックすると事業者の情報にリンクします)

日付 平成17年12月16日

**評価機関名** ㈱東京リーガルマインド  
(クリックすると評価機関の情報にリンクします)

**評価調査員**  
A: 現職 介護支援専門員  
資格・経験 介護支援専門員、介護福祉士、老人福祉施設(9年以上)  
B: 現職 元介護療養型病棟看護士  
資格・経験 看護師(8年)、介護支援専門員

**自主評価結果を見る** (事業者の自主評価結果にリンクします)

**評価項目の内容を見る** (評価項目にリンクします)

**事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)**  
(事業者情報のうち評価結果に対する事業者コメントにリンクします)

**外部評価の結果**

**講評**  
全体を通して特に良いと思われる点など(記述)

閑静な住宅街のはずれに白い壁とオレンジ色の屋根が印象的な南欧風の建物があり、それが老人保健施設『アルテピアせと』で、一段下がった所にある同じく南欧風の建物が『グループホームアルテピア』である。ホームの南は一面の田んぼ、その向こうには木の茂った小山が見え、四季の移り変わりが肌で感じられる。すぐ右手は住宅地になっており、隔絶された印象が無いのが良い。

知誠会の母体は岩藤クリニックで、医療との連絡が取れており緊急時にも安心である。同法人の職員の交流もうまくいっており、情報の伝達もスムーズで協力し合っている。

職員は「係り活動」と称して学習係・生活係・ふれあい係など9の係を作り、質の向上に向けて前向きに取り組んでいる。

毎月、「きれいになる日」「たこ焼きの日」「三色丼の日」「ドライブの日」などと週2回程度行事を作り、楽しみのある生活を心掛け、身体と精神の機能の低下防止につなげている。

「きれいになる日」には、  
・化粧をしたり髪をセットしたりする。  
・夏祭りには浴衣を着て屋台に出かける。  
・誕生日には手作りの豪華なドレスを着てイヤリングやティアラをつけ、花束を持って主役になっていただく。

等、随所に楽しみや喜びを引き出す工夫がある。高齢(100歳以上)の方が2名おられるが、マイペースで穏やかに暮らしておられた。  
何でも一緒にするという事を大事にしている。合同の文化祭に、グループホーム全員で制作したパッチワークの壁掛けを老健の玄関に展示していたが、皆で楽しんで作った事がうかがえる作品だった。

**特に改善の余地があると思われる点(記述)**  
顔がいことで気になることはあったが、特に改善が必要とまでは言えない。このまま、『もう一つのわが家』をますます楽しいものにして行って欲しいと思う。

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
記述項目	<p><b>グループホームとしてめざしているものは何か(記述)</b></p> <p>ホームの理念に基づき、『ゆっくり、一緒に、楽しく』生活ができるように支援している。入居者の笑顔が見られる支援を介護の本質と考え、より安心な気持ちで過ごしていただけるグループホームを目指している。管理者は、「入居者の方にいつまでもお元気でいていただきたい。いつもいい笑顔が見られるような介護をしていきたい。」と気持ちを述べられた。</p> <p>「もうひとつのわが家」として、職員は時には子供になり孫になり、一人一人のペースに合わせ、その人らしい生活ができるよう家庭的な雰囲気作りを努めている。</p>		

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり		
4	建物の外回りや空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目	<p><b>入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か(記述)</b></p> <p>誰かが傍に居ると安心されることもあり、手をさすったり、腕を組む等のスキンシップを大切にしている。</p> <p>分かりやすくゆっくり話す事を心がけ、安心感を持てただけのようにしている。</p> <p>懐メロや唱歌、ヨモギ湯や秋のすすき等、懐かしいものや季節感のあるものを取り入れるようにしている。</p>		

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人でできることへの配慮		
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		

III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切にした整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物物の支援		
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目	<p><b>一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か(記述)</b></p> <p>その方の生活歴を大切にしている。茶道の先生をしていた方にお茶を立てていただく、花の好きな方には花の名前を書いて花瓶に貼る、花のスケッチをする、習字をする等以前好きだった事を一緒にしたり話題にして意欲や興味を引き出すきっかけを作り、今の生活に活かす工夫をしている。</p>		

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
33	家族への日常の様子に関する情報提供		
34	地域との連携と交流促進		
35	ホーム機能の地域への還元		
記述項目	<p><b>サービスの質の向上に向け日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か(記述)</b></p> <p>小さな事でも職員同士での話し合いを日常的に行っている。気がついた事があればお互いに注意し合い、直していくように心がけている。</p> <p>事故対策委員会を設け、毎月知誠会全体でまとめて報告書を作成している。報告書には事故の分析や対策を記入しており、職員間で共有して今後の参考になっている。</p>		